

図書館だより

平成26年10月 栃木市立東陽中学校

1942年に始まった「図書館週間」がその後「読書週間」と改称され、1948年から「文化の日」の前後にまたがる2週間に期間を延長して実施されるようになりました。良書の普及と推進のためにさまざまな催しが行われます。みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。



今年の全国読書週間の標語



読書週間が読書習慣になりますように



東陽中の読書月間は東陽中祭の終わった10月28日(火)～11月14日(金)です。

標語の募集、先生方の本の紹介などを予定しています。また皆さんには、“私の選んだ一冊の本”を作成してもらいますので、友達にすすめる本を考えておいてください。

ほかにも、多読者表彰や図書委員による集会も計画しています。



新しく入った本・入る本

「銀翼のイカロス」「万能鑑定士Qの事件簿」

「マスカレード・ホテル」「マスカレード・イブ」

「ハラリスの陽のもとに」「Nのために」「本気で5アンペア」「ナイツ&マジック④」

「天使と悪魔 上」「桜ノ雨 ① ②」「ブラック・ブレット」「ハケン・アニメ」

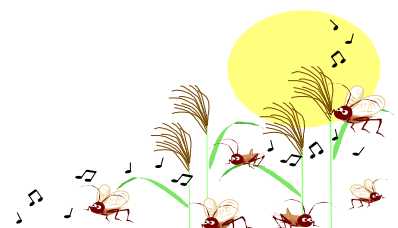
「ハイ☆スピード」「私の嫌いな探偵」「ランチのアッコちゃん」

「その時までサヨナラ」「アムールヒョウの親子を救え」「思いでのマーニー」

「本気で5アンペア」「ギネス世界記録2015」

「EXILE HIRO ビビリ」「思わず人に話したくなる栃木学」

「あなたの知らない栃木県の歴史」「荒神」



感動を絵に描いてみよう

第26回 読書感想画 中央コンクール指定図書

中学校・高等学校の部

本を読んでイメージを広げよう！



願いながら、祈りながら 乾ルカ 著 913 イ

北の大地の片隅に、奇跡のようにぽつんと中学校の分校がのこっていた。1年生4人と3年生1人。それほどの少人数でも、自称靈感少女もいれば、嘘つきといわれる少年もいる。そこに赴任してきたのは、やる気ゼロの新米教師。やがて彼がしることになる少年の嘘の哀しく切ない理由とは？迷い、うつむき、つまずきながら、進みつづける感動の青春前期物語。



カンヴァスの向こう側：少女が見た素顔の画家たち著者 949 セ
フィン・セッ テホルム 著 / 枇谷玲子 訳

リディアは絵が大好きな12歳の少女。ある日、美術館の絵に触れてしまい、その絵の中の世界に入ってしまう。時代背景も細かく書き込まれ、歴史好きな人にも、美術好きな人にも、おすすめの1冊。



ルーシー変奏曲 美しくも切ない天才ピアニストの物語
サラ・ザール 著/ 西本かおる 訳

天才ピアニストとして英才教育を受け幼少期から活躍していたルーシー。世界的なピアノコンテストに出るために、世界各地を回っていました。あるコンクールの当日、祖母の死を知り、ショックで会場から逃げ出してしまいピアノをやめることに…。自己発見と成長の感動物語。



ガラパゴスに木を植える：世界自然遺産第一号を守れ！
藤原幸一 写真・文

著者は20年以上ガラパゴスの通い、2007年から現地で原生林復活の植林を行っています。世界自然遺産第1号のガラパゴス諸島で自然破壊が急速に進んでいるからです。



田んぼの不思議 安室知 著 616 ヤ

田んぼや里山は人工物だが、自然と調和して豊かな生態系を提供してきた。さらに民族学的な視点で田んぼを見直すと、人々の生活や伝統・文化と深くかかわってきたこともわかる。田んぼの不思議を解き明かす。